

第212話 口誦文芸④ 「^{ごぜ}瞽女説地震身上」 その4 中山町 歴史散策

「瞽女説地震身上」の前号の続きです。

天のいましめ今より悟り、忠と孝とのふたつの道を、己^{おのれ}れくが職分守り、上にいる人下あわれみ、下にいる人上敬いて、つねに儉約慈悲深く、奢る心ハ慎しむならバ、かかる困窮あるまいものを、さらは仏も天道さまも、恵み賜へてただ世の中を、末世末代波風たらず、四海太平諸色も安く、米も下値二五穀も実のり、地震どころか町在共に、子孫栄えて末繁昌の、基なるべきためしはここに、飾る此身も罪深き、地震潰れの堀立小屋に、しばらく籠りて世の人びとの、監督せよと書き記し置き、筆の命もおくべしや

此本何万参り候共私方へ御届可被下候

東村山郡最上村大字南小路

源 信勝外 三名
斎藤中之家

この「瞽女説地震身上」は、大変長い台本で、異見勇右衛門なる作者の手になるものです。

今日、当町に残る数少ない口誦文芸の台本となっています。文面はともかく、地震の惨状が鮮明で、何人かの瞽女が全文を誦^{よみ}んじて上演したものがわかりませんが、口調の良い七・五調で区切ってみると、わかりやすい文意となります。恐らく、三味線の音曲に合わせ、瞽女特有の切れの良い語り、宿の広間いっばい地元の人びとを集め熱演されたのでしょう。

【語句の説明】

職分…その職についている者がしなければならぬ仕事。各人がそれぞれの立場で力を尽くしてなすべき務め。本分。
四海…国内。世の中。天下。

※引用 中山町史 中巻 第10章第3節 文芸と美術工芸

私たち地域おこし協力隊です！ No.78

ごきげんよう。移住して2度目の冬は雪かき雪運びの日々で筋肉痛が続いて心も体もしんどいを経験しました。が、ゆ・ら・ら温泉の効果か？おかげさまで足の冷えもなく代謝も上がって毎日元気に活動できています。

なんとなく積雪を怖がって気持ちにゆとりのない暮らしをしていましたが、活動するなかで、上を向き、空を見ることを心がけているときれいな風景に出会うことも多くありました。ある日通称「ペンギン公園」と呼ばれている中央公民館前の公園の周りにある樹に花が咲いたように雪が積もって、風でその雪がハラハラと舞う美しい風景を見ました。町内でも地域によって積雪の量が違うようですが、中央公民館付近は、旧^{まろ}〇と付近とは気温が違うのでしょうか？

その日の中央公民館付近はいつもと全く違う幻想的な樹たちの姿でした。

春が近いと感じて心がウキウキした一日となりました。

春になると色々な別れがありますね。私は地域おこし協力隊の先輩が卒業して寂しくなりますが、新しい出会いがあることを期待して、自分のミッションを一生懸命に遂行していきます。町内の桜が咲くのが楽しみです。



阿部美恵子

出身地：栃木県鹿沼市
趣味：高校野球観戦



●協力隊への問い合わせ先● 阿部 ☎662-4271（総合政策課）



ブースで試作品の試食を行う様子

地域おこし協力隊 活動報告会を開催 1年を振り返る地域貢献の歩み

2月9日に中央公民館で地域おこし協力隊の活動報告会が行われ、高橋圭哉さん（3年目）と阿部美恵子さん（2年目）が1年の活動を振り返りました。

約30名が参加した報告会では、隊員からスマホ教室やチラシ・Webデザインの実績や、米とすももを使った栄養補助食の開発について報告があり、また今後の活動について展望を語りました。

報告会終了後には各ブースで参加者から質問やねぎらいの言葉をかけられ、交流を深めていました。

第3期 地域おこし協力隊 高橋 圭哉さんが卒業

令和4年4月1日から、地域おこし協力隊として活動いただいた高橋圭哉さんが、3月31日付けで卒業となります。SNSなどを活用した町の魅力・情報発信や誰一人取り残さないデジタル化に向けて取り組んでいただきました。



Q 3年間の活動について教えてください。

SNS（Instagram）を活用し、移住者の視点から中山町の魅力やイベント情報、周知事項などを発信しました。また、高齢者向けにスマホ教室や個別相談を実施し、デジタルデバイドの解消に努めました。さらに、イベントのチラシや移住パンフレットの制作にも取り組み、町の魅力を広く伝える活動を行いました。

Q 活動の中で学んだこと・身についたことは？

SNSでの発信でもスマホ教室や相談でも、人に何かを伝える難しさを改めて感じました。どのように伝えれば相手にとって分かりやすく、興味を持ってもらえるのかを考え、言葉の選び方などを意識するようになりました。これらの経験を通じて、分かりやすく伝える力や、相手の立場に寄り添う姿勢が身についたと感じています。

Q これからの活動について教えてください。

協力隊退任後、中山町でスマホ教室や個別相談を行えるように準備しています。Web制作の仕事をメインに考えていますので、回数や時間が減ってしまうことはご了承ください。これからのデジタル社会に取り残されないようなお手伝いできればと思っています。



地域おこし協力隊として中山町に移住し、気づけばあっという間に3年間で過ぎました。スマホ教室や個別相談などの活動を通じて、多くの町民の方々と関わる機会に恵まれ、皆さんの温かさや優しさに支えられながら過ごしてきました。中山町の魅力を感じながら、一緒に学び、成長できたことに心から感謝しています。これからも中山町に居りますので、改めてよろしくお願ひします。3年間本当にありがとうございました。